

- ☆第89回埼玉県中央メーデー
- ☆地域メーデー
- ☆非正規労働センター設置/第1回組織拡大推進者連絡会
- ☆青年委員会「推薦議員との意見交換」[国会見学&防災体験学習]
- ☆女性のためのSTEP UPセミナー(初級)開催/
組合役員教育プログラム(スキルアップ)
- ☆6月の行動日程/ろうきんキャンペーン
- ☆あけぼのビル

平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう!

働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう!

第89回埼玉県中央メーデー

近藤 嘉
連合埼玉会長上田清司
埼玉県知事小林直哉
埼玉労協協理事長清水勇人
さいたま市長大野元裕
参議院議員

4月28日(土)、さいたま市大宮区「鐘塚公園」にて、「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」との連携を軸とした全員参加型メーデーとして、第89回埼玉県中央メーデーを4,841名の参加のもと開催した。

式典の冒頭、主催者挨拶にて近藤会長は、メーデーの起源にふれながら、「日本の平和と民主主義、そして長時間労働から働く者の命を守るため、貧困解消と戦争反対を高く掲げ、現政権の暴走を阻止する大きなうねりを起こしていきたい」と参加者に力強く訴えた。

また、働き方改革について「法整備もちろん大切ではあるが『働き方改革』は、それと併せて、現場レベルでの労使による議論、更には働く人たちの意識改革/行動改革をしていく取り組みが、大変重要になる。連合埼玉としても社会に向けた取り組みと、職場における取り組みを意識しながら、全力で活動を展開していきたい」と真の働き方改革にむけた決意を話した。

続く来賓あいさつでは、上田清司知事をはじめ、福祉事業団体を代表し小林直哉埼玉労協協理事長、清水勇人さいたま市長、民進党埼玉県連代表の大野元裕参議院議員から挨拶をいただいた。

その後「組織化にむけた訴え」として、オールディーシー労働組合 福井義晃中央執行書記長より訴えをいただき、

メーデースローガン、ならびにメーデー宣言が採択された。

最後に近藤会長の発声にて「団結ガンバロウ」三唱がおこなわれ、式典はしめくくられた。

会場では、各地域協議会協力によるドリンクコーナーや、東北3県ならびに九州2県の物産店、前回に引き続き2回目となるNPO法人フードバンク埼玉共催によるフードドライブも実施された。

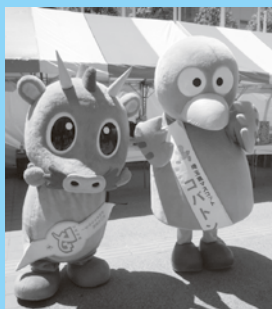
また、越谷・あゆみの会による「浪江焼きそば」の販売や、NPO法人クッキープロジェクトとNPO法人森の102(とうふ)工房による商品販売コーナーもあり、メーデー参加者と県内避難者や県内NPO法人との連携を深める場ともなった。

模擬店による売り上げ245,050円と、会場内でおこなったカンパ協力金428,857円の合計673,907円はふれあい募金として活用していく。



会場の様子

写真で見る 第89回埼玉県中央メーデー



つなが竜ヌウとコバトン



メーデー宣言:
龍口隆二さん(青年委員会)



メーデースローガン:
石川智恵美さん(女性委員会)



組織化に向けた訴え:
アールディーシー労働組合
福井義晃中央執行書記長



ふっかちゃんとガーヤちゃん



ダンスチーム銀座本店
「労働戦隊クラシノコアゲンジャーZ」



お楽しみ抽選会



「快盗戦隊ルパンレンジャーVS
警察戦隊パトレンジャー」ショー



森の102工房



クッキープロジェクト



フードドライブ



埼玉労福協



ドリンクコーナー



推薦議員のみなさん



中央ろうきん・全労済・バルシステム埼玉



団結ガンパロー



なみえ焼きそば



東北3県(岩手・宮城・福島)と
九州2県(大分・熊本)の物産販売

地域メーデー・前夜祭 開催模様

さいたま市地域協議会メーデー前夜祭

- ◆4月27日(金) さいたま市民会館おおみや
- ◆参加者:150名
- ◆式典、アトラクション、抽選会
- ◆主催者代表内田議長の挨拶で始まった式典は、連合埼玉平尾副会長、埼玉労福協小林理事長をはじめ、多くの来賓の方々より祝辞をいただき、メーデー宣言が確認され第2部のアトラクションへ。今年のアトラクションは、元祖アイドルマジシャン「瞳ナナ&ポロン」によるマジックショーと、社会派コント「石倉チョッキ」による麻生大臣ネタに、会場は驚きと笑いに包まれました。お楽しみ抽選会では、ピンゴ職人の異名を持つ花菱労働組合の斉藤委員長の期待を裏切らない進行で大いに盛り上がり、翌日に控えた連合埼玉第89回埼玉県中央メーデーでの再会を誓い、内田議長のガンバロー三唱で閉幕となりました。



秩父地域協議会

- ◆4月22日(日) 秩父ミュージックパーク野外ステージ
- ◆参加者:514名
- ◆式典、お楽しみ抽選会、ふれあい募金
- ◆晴天の中、大勢のご家族や地域の方々に参加いただき、たくさんの笑顔をいただきました。各地域のキャラクターにも参加いただき、今まで以上の盛り上がりとなりました。式典では、我々の掲げたスローガンとメーデー宣言も確認し、1市4町での取り組みの再認識と、さらなる活動の強化について、改めて考えるメーデーとなりました。「来てよかった」「また来たい」と思っただけのようなメーデーができるよう、今後も組織一体となって取り組んでいきます。



北埼玉地域協議会

- ◆5月1日(火) さきたま古墳公園(行田地区)
- ◆参加者:250名
- ◆式典、アトラクション、抽選会
- ◆今年も天候に恵まれ、炎天下での開催となりました。第1部では行田部会吉沼議長のあいさつから始まり、メーデー宣言採択まで滞りなく終了することができました。第2部では恒例のチーム対抗輪投げ大会とピンゴ抽選会を実施し、皆さんに楽しんでいただけたと思います。平日での開催となったため、家族連れが少なかったことが少し残念ではありましたが、また来年も多くの方に参加していただけるよう活動していきます。



- ◆5月1日(火) 羽生市中央公園(羽生地区)
- ◆参加者:250名
- ◆式典、抽選会
- ◆毎年陽射しが厳しい中でのメーデーですが、天候に恵まれ、炎天下での開催となりました。羽生部会小山部会長の挨拶から始まり、お楽しみ抽選会では、皆さんに楽しんでいただきました。平日での開催のため、家族連れが少なかったことが少し残念ではありましたが、また来年も多くの方に参加していただけるよう活動していきたいです。



本庄・児玉郡市地域協議会

- ◆4月22日(日) 本庄市役所南側駐車場
- ◆参加者:375名
- ◆式典、抽選会、デモ行進
- ◆例年メーデーを開催する日は天候が良く、今年も天候に恵まれて晴天の下開催しました。内容は例年通り、式典、お楽しみ抽選会、デモ行進をおこなっています。お楽しみ抽選会では、高額商品もあり、参加者のみなさんは大いに盛り上がりました。最後に本庄市役所から本庄駅までデモ行進をして流れ解散となりました。事務局長はいろいろな準備が非常に大変ですが、地域で働く労働者の横のつながりの場としてこれからも引き続き、開催していきますので皆様方のご協力をお願いいたします。



「連合埼玉非正規労働センター」設置

～非正規雇用の問題改善にむけた包括的組織として～

6月1日(金)、連合埼玉は、第15回定期大会で確認した運動方針にもとづき「連合埼玉非正規労働センター」を設置した。雇用の二極化や貧困問題が広がるなか、その根源である非正規雇用問題が深刻であるとの認識にたち、連合本部は2007年に非正規労働センターを設置し、また、47地方連合会にも同センターの設置を求めてきた。連合埼玉としても検討を進めるなか、昨年に埼玉県が実施した非正規労働者への実態調査結果において「正社員を希望しているがなれない」「育児介護などの諸事情で非正規として働いている」等の不本意非正規労働者が多くいたこともうけ、5月開催の第6回執行委員会でセンター設置について議案提案し、満場一致にて決定した。なお、今後の具体的活動については、すでにセンターを設置している他の地方連合会の状況等も確認しながら、組織委員会にて協議し執行委員会に提案していく。

【設置目的】

パート、派遣、契約などの非正規労働者は、低賃金など多くの問題を抱えている。

非正規労働者は立場が弱く、労働相談では、解雇、不払い残業などの問題について、連合埼玉はこれまで相談者に寄り添って対応してきた。また、本年4月から無期転換ルール(労働契約法18条)が施行されたことから、連合埼玉は、安心して働ける無期雇用への転換を支援することや労働条件改善に向け「連合埼玉非正規労働センター」を設置し、非正規雇用における問題の改善に向けて取り組む。

Action!

「20万連合埼玉」実現に、手法の共有をはかる

～第1回組織拡大推進者連絡会を開催～

5月8日(火)、ときわ会館にて構成組織代表者・組織拡大担当者、地域協議会代表者が参加し「第1回組織拡大推進者連絡会」を開催した。冒頭、浅見組織委員長より「本連絡会は毎年開催しており、目的は組織拡大だ。2020年までに20万連合埼玉の実現という大きな目標がある。現段階では厳しくも思えるがあきらめることなく、何とか間に合うように組織拡大を進めていかなければならない」と挨拶があった。

その後、連合本部非正規労働センター石黒生子総合局長より非正規労働者の課題と対策についての説明では「連合総研の調査結果では、非正規労働者の1/3が主たる稼ぎ手であり、3/4は年収200万円未満である。また初職非正規労働者が4割、不本意非正規労働者は5割にもものぼる。このような雇用問題は生活に直結しており対策が必要だ。また、正社員と非正規労働者間に多くの処遇差もある。各組合は同じ職場で働く非正規労働者が抱えている問題を、自らにつなげる課題としてとらえ、その改善を考え具体的な行動につなげていかなければならない。正社員だけの組合で、本当に職場を代表する組合としての役割を

果たせているのか考えていただきたい」と提起された。その後「非正規労働者を多く抱える組合の組織化」「公務職場における非正規労働者への取り組み」について、構成組織の代表者から報告がおこなわれた。最後に、「労働相談ダイヤル」の状況についてユニオンアドバイザーより報告があり、会は終了した。



挨拶をする浅見組織委員長



非正規の課題について説明する石黒総合局長



民間労組の取り組みを話すUAセンセン 保田次長



公務職場の取り組みを話す自治労 明道執行委員

青年層の明日を考える

青年委員会「推薦議員との意見交換会」

青年委員会は3月27日(火)「推薦議員との意見交換会」を実施した。青年委員会では政治に関する意識の高揚を目指すという活動方針を掲げており、今回の意見交換会は今後の活動をより活性化するための起爆剤とすべく開催した。

意見交換会には水村・井上県議、三神・池田・島田・町田・松田・新妻・海老原市議、計9名の推薦議員が参加し、多様な分野にわたった議論となった。

はじめに、前回の国政選挙の際に若年層の支持が与党に集まっていたことに触れ、議員が若年層や働く者から信頼を寄せてもらうにはどのような活動を強化すべきなのか、どのような場面で連合と連携することが可能なのかを討議した。

次に、若年層の諸活動への参画について討議した。この課題は我々労働組合だけでなく多くのNPOでも同様の状況にあるとの情報をいただいた。この課題に直面する組織は、若者に参加のメリットを具体的にあげてほしいと言われてもあげられないケー

スが多いため、目に見えるわかりやすい形で活動を説明できるとよいという意見をいただいた。また、政治活動への参画も同様であり、組合と政治が連携した結果を具体的に示すことが出来れば理想的であり、若年層を取り込みやすいのではないかという意見もあった。

他にも多数の意見があがり、非常に密度の濃い意見交換会となった。青年委員会は今回得た情報をもとに、若年層の更なる活動の活性化や政治参画、推薦議員との連携の強化を目指し、青年層らしい、青年層ならではの活動を更に充実させていく。

(青年委員会委員長 佐藤洋太 記)



意見交換会の様子



挨拶する佐藤委員長

政治も防災も体験し身近なものに

青年委員会「国会見学&防災体験学習会」

青年委員会は5月10日(木)「国会見学&防災体験学習会」を、青年委員会幹事、構成組織からの参加者ら、計23名参加のもと開催した。

国会見学では、タイミング良く、経済産業委員会での大野元裕参議院議員の質問を傍聴できた。普段テレビなどでは報道されない、大臣との丁寧で建設的な意見交換の様子を見ることができたのは貴重な経験となった。

国会見学後の埼玉県選出の国会議員との意見交換会では、山川・枝野・大島・森田衆議院議員に参加をいただき、青年層が職場で抱える問題や悩みなどについて、また、議員からの「青年層は政治に対してどの程度関心を持っているのか？」などの意見・質問について意見交換がされた。また、議員からは、これから職場や組合を担う青年層に対しての激励の言葉も頂いた。

今回の受け入れ先である大野元裕参議院議員とは、昼食をとりながらの意見交換会となった。笑いも出る和気あいあいとした雰囲気の中でも、北朝鮮問題などの質問に的確に答える大野議員に感心する声もあがった。参加者からは「議員の方を身近に

感じられ良い経験ができた。機会があればまた参加したい」との感想もいただいた。

東京消防庁本所防災館での防災体験では、首都直下型地震の教育ビデオの観賞、暴風雨体験、消火器での消火体験、都市型水害体験、地震体験などをおこなった。

近年でも地震や豪雨などで毎年多くの被害が出ているが、ここでの体験はどれも実践的で、防災に対しては普段からの物心の準備が大切なのだとは再認識させられた。

今回の意見交換会、防災体験ともに我々の生活に直結する有意義なものだった。今回の経験を今後の青年委員活動にも活かしていきたい。

(青年委員会事務局長 川島貴至 記)



国会議事堂前にて



意見交換会の様子

女性が労働組合でかがやくために

女性のためのステップアップセミナー(初級)

女性委員会は、4月20日(金)あけぼのビルにおいて「女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)～女性が労働組合で輝くために～」を構成組織より27名参加のもと開催した。

冒頭、女性委員会上杉委員長より「企業が女性活躍に計画的に取り組むようになってきたが、まだまだ女性が働きやすい職場にはなっていないのが現実。このような現実を職場の中から改善していく仲間になってほしい。また、自身のスキルアップやネットワーク作りに役立ててほしい」と挨拶があった。

また連合埼玉近藤会長からは、地方連合会で初の女性会長が連合奈良と連合宮崎で誕生したことや連合埼玉の取り組みなどの話があった。

続いて、㈱ラポール企画代表の大小原利信氏より「多様性を認め合えるコミュニケーション～話し上手/きき上手～」というテーマでグループ研修をおこなった。「良好なコミュニケーションとは、互いに情報を共有し、理解し合い、相手が行動する」「人は育つもの。自己成長力を持っていることを信じる。アドバイスでは人は動かない」などのお話が印象的で、昼食をはさんで180分の時間があっという間に過ぎた。

次に、連合総合男女・雇用平等局長の井上久美枝氏より「はたらく女性を取り巻く環境とその課題」というテーマで講演をしていただいた。社会を変える、法律を変えるために労働組合の役割は重要であること、LGBT、SOGIに対する理解や意識が低い現状等をご自身の組合活動経験を盛り込みながらわかりやすくお話された。

今回のセミナーの参加者からは、「新しい気づきがあった」「今後の組合活動に役立てたい」「他企業の方と情報交換ができて有意義だった」等の感想が多くあった。

また、女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)の開催(9月頃、2日間)を予定しているため、初級編受講者をはじめ、各構成組織より多くの女性に参加していただきたい。

(女性委員会幹事 鈴木恵美子 記)



挨拶する近藤会長



ラポール企画代表 大小原利信氏



連合総合男女・雇用平等局長 井上久美枝氏



参加者のみなさん

組合役員教育プログラム(スキルアップ)開講します

組合役員教育プログラム(スキルアップ)を7月4日(水)より開講します。

スキルアップ講座は、組合活動だけでなく業務にも役立つスキルや知識を学ぶことができる内容となっています。参加は全て無料です。多くの方の参加をお待ちしております。

【日時】

- ⑮ 7月 4日(水)14:00～18:00
- ⑯ 7月 7日(土)10:00～17:00
- ⑰ 7月11日(水)14:00～18:00
- ⑱ 7月14日(土)10:00～17:00
- ⑲ 7月21日(土)10:00～17:00
- ⑳ 7月25日(水)14:00～18:00

【場所】

あけぼのビル 3階会議室

◆スキルアップ講座の内容

⑮	プレゼンテーション(納得性を高める伝え方) ・話し方・表現力に加え、納得性を高める伝え方を学ぶ
⑯	組合広報誌の作り方 ・機関紙・組合ニュースなど、文書力や編集能力を高めることで読者の理解力を高める技術を学ぶ
⑰	組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション) ・傾聴と伝え方(自己表現)、仕事の依頼方法や役割の伝達方法について学ぶ
⑱	組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング) ・コーチングスキルを身に付け、質問によって相手の潜在能力を引き出し、行動を促す方法を学ぶ
⑲	会議の進め方②(ユニオンファシリテーション) ・参加者の発言を引き出し、議論を合意形成していく手法を身に付ける
⑳	イベント企画の立て方とその運営 ・目的別イベントの企画方法と参加しやすいイベント案を考える

現在予定される6月の日程表です

6月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 金	①埼玉シニア連合「第4回幹事会」(13:00～・連合埼玉会議室) ②埼玉シニア連合「第17回全組織代表者会議」(14:00～・あけぼのビル5F) ③青年委員会第6回幹事会(18:00～・連合埼玉会議室)	熊谷・深谷・寄居地域協議会「第3回幹事会」(18:15～・ネット21熊谷)
2日 土		
3日 日		
4日 月		北埼玉地域協議会「組織代表者会議」(~4日・ホテルふせじま)
5日 火	第7回四役・執行委員会(10:00～・本田技研工業株式会社埼玉製作所狭山工場)	
6日 水		①第2回地方連合会代表者会議(14:00～・浦安ブライTONホテル東京ベイ) ②連合「いのちを守る絆フォーラム2018」(17:00～・オリエンタルホテル東京ベイホテル)
7日 木		連合「第7回中央委員会」(10:00～・浦安ブライTONホテル東京ベイ)
8日 金	埼玉シニア連合編集委員会(14:00～・連合埼玉会議室)	①ときわ会館理事会(10:00～・ときわ会館) ②埼玉労働局「既卒3年以内対象就職面接会」(13:00～・大宮ソニックシティ)
9日 土		
10日 日		ワークルール検定2018春初級(10:00～・さいたま共済会館)
11日 月		
12日 火		
13日 水	オルガナイザー研修会(養成講座)(10:30～17:00・あけぼのビル501)	川越・西入間地域協議会「第3回幹事会」(18:30～・ネット21川越)
14日 木		
15日 金	女性のための労働相談ホットライン(~16日)	
16日 土	平和集会(13:30～・埼玉ピースミュージアム)	埼玉教組「第30回定期大会」(9:30～・国立女性教育会館)
17日 日		
18日 月		
19日 火	第3回ライフサポートステーション運営会議(15:30～・連合埼玉会議室)	さいたま市地域協議会「幹事会」(18:30～・ネット21大宮)
20日 水	メンタルヘルスセミナー応用編(13:00～・あけぼのビル5F)	
21日 木	①オルガナイザー研修会(実践)(10:00～17:00・さいたま市近隣) ②第3回組織委員会(17:15～・連合埼玉会議室)	埼玉労働協理理事会(10:00～・ときわ会館)
22日 金	埼玉シニア連合四役・幹事会・機関紙発送(13:00～・14:30～・16:00～・連合埼玉会議室)	
23日 土	平和行動in沖繩(~25日・那覇市)	①朝霞・東入間地域協議会「列島グリーンキャンペーン」(9:00～・和光樹林公園) ②埼玉労働協「福祉フォーラム2018」(13:30～・ときわ会館)
24日 日	災害ボランティア救援隊「隊員研修(初級編)」(10:00～・あけぼのビル3F)	関東ブロック「2018地協活動推進会議」(~15日・マロウドイン熊谷)
25日 月		
26日 火		ときわ会館評議員会(10:00～・ときわ会館)
27日 水		平成30年「第1回埼玉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会」 (10:00～・埼玉職業能力開発促進センター)
28日 木	男女平等参画「トップセミナー」(13:00～・あけぼのビル5F)	①埼玉労働協「地域労働協代表者会議」(13:00～・全労済埼玉推進本部) ②関東ブロック「2018副事務局長会議」(14:00～・連合東京)
29日 金		
30日 土		

〈中央ろうきん〉
“夏の一時金”
キャンペーン

対象商品の
店頭表示金利に
今なら **プラス** **年0.1%**
キャンペーン期間 **2018.6.1(金)～7.31(火)**

対象商品 スーパー定期預金、大口定期預金 預入期間 1年 預入金額 スーパー定期預金：1円以上1,000万円未満(1円単位)
大口定期預金：1,000万円以上(1円単位)

対象条件 ①他金融機関からの預け替え等、新たな資金でのお預け入れ
②現金または振込等により普通預金・貯蓄預金に入金された資金からのお預け入れ
※他の〈中央ろうきん〉定期預金・財形貯蓄・エース預金からの預け替えは対象となりません。

満期後の取扱い 自動継続(元利継続・元金継続)または自動解約
※自動継続後の金利は、満期日当日における店頭表示金利となります。

※ATMや「インターネット/モバイル/バンキング」にて作成いただいた定期預金は対象とはなりません。※〈中央ろうきん〉定期預金は、預金保険制度の対象商品です。※個人のお客様が対象となります。※店頭表示金利および上乗せ金利は税引き前であり、お利息には20.315%の税金がかかります。※中途解約された場合、当金庫所定の中途解約利率が適用となります。※金利情勢等により、予告なく商品内容を変更したりお取扱いを中止する場合があります。※他の金利上乗せ定期預金との重複適用はできません。※店頭に説明書をご用意しています。※最新の店頭表示金利は、店頭または当金庫のホームページでご確認ください。

※詳しいお問い合わせ・ご相談は〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

中央ろうきん

お問い合わせ・ご相談は〈中央ろうきん〉埼玉県本部

2018年6月1日現在

Akebono Building
あけぼのビル

事務局長 | 佐藤 道明 |

◆「候補者男女均等法」全会一致で可決・成立

5月16日、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（候補者男女均等法）」が、参議院本会議において全会一致で可決・成立した。

2016年の第190通常国会に野党4党の法案が提出されて以降、2017年の第193通常国会には与野党で一本化された法案が改めて提出されたが、森友学園問題などによる国会の混乱で持ち越され、秋の衆議院解散で廃案となった。

今年4月、全党が一致し、衆院内閣委員長を提案者とし委員会発議として4月11日に再提出され、翌12日に衆議院で可決し同日参議院へ送付された。

本法案は、政治分野における男女共同参画が、国又は地方公共団体における政策の立案及び決定において、多様な国民の意見が的確に反映されるために一層重要となることに鑑み、政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的に推進するため、男女共同参画社会基本法の基本理念にのっとり、政治分野における男女共同参画の推進について、その基本原則を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、政治分野における男女共同参画の推進に関する施策の基本となる事項を定める必要があることから法案が提出された。

◆候補者男女均等の基本原則

本法第2条（基本原則）では、①政治分野における男女共同参画の推進は、衆議院議員、参議院議員及び地方公共団体の議会の議員の選挙において、政党その他の政治団体の候補者の選定の自由、候補者の立候補の自由その他の政治活動の自由を確保しつつ、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して行われるものとする。

②政治分野における男女共同参画の推進は、自らの意思によって公選による公職等としての活動に参画し、又は参画しようとする者に対するこれらの者間における交流の機会の積極的な提供及びその活用を通じ、かつ、性別による固定的な役割分担等を反映した社会における制度又は慣行が政治分野における男女共同参画の推進に対して及ぼす影響に配慮して、男女が、その性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できるようにすることを旨として、行われなければならない。

③政治分野における男女共同参画の推進は、男女が、その性別にかかわらず、相互の協力と社会の支援

の下に、公選による公職等としての活動と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となることを旨として、行われなければならない。と定めている。

要約すれば、国や地方議会の選挙において、男女の候補者数ができる限り均等となることをめざすこと、男女がその個性と能力を十分に発揮できるようにすること、家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となるようにすることを基本原則として定めた。

その上で、国には必要な施策を策定すること、また必要があると認める時は、必要な法制上または財政上の措置を講ずる旨も規定された。政党その他の政治団体には、自主的な取り組みとして目標値を設定することが努力義務として定められた。強制力はなく理念法ではあるが、それでも、国会の全会派が一致して、男女均等を目指す姿勢を示した意義は大きい。各党は女性候補を増やす取り組みを果敢に実行してほしい。

◆政党のやる気が問われる

現在の国政における女性議員の比率は、衆議院においては10.1%、参議院においては20.7%であり、政府の第4次男女共同参画基本計画では2020年までに国政選挙の女性候補者を30%に引き上げる目標を掲げているが、昨年10月の衆議院選挙では17.7%と目標には遠く及んでいない。

また、世界経済フォーラムが発表しているジェンダー・ギャップ指数において、わが国は144カ国中114位と主要先進国中最下位であり、特に政治分野では123位と大きく立ち後れている。

今後は、政治分野における女性の参画をより積極的に推進するために、女性議員を増やしてきたヨーロッパの国々や、アジアでは韓国や台湾などで採用され、議席や候補者の一定数を女性に割り振る「クオータ制」の導入に向けたさらなる議論と追加の法整備が必要である。とは言え日本の現状を考えれば、一足飛びには弊害があるだろう。

まずは女性候補者の発掘と育成に真剣に取り組むべきだ。与野党各党は選挙のたびに、「男女共同参画」や「女性活躍」の推進を公約の柱として訴えてきたが、党本部や地方組織での候補者選びは、ベテランの男性幹部が担う場合が多く、人材の発掘が政治家の親族や支持団体の幹部ら男性に偏ってきた面がある。

意欲と能力のある人材は地域に必ずいる。さまざまな視点や経歴を持つ候補者が増えれば、投票する選択肢が広がるだろう。来年は春に統一地方選挙、夏に参議院選挙があり、政党のやる気が問われる。政党は候補者数の男女均等化に努めているか。多様な声を生かそうとしているのか。私たちが有権者として政党の取り組みを注視したい。

2018.5.22